

魅力ある県立短期大学づくりに係る論点とアンケート等結果について

検討委員会で整理した論点を踏まえ、アンケート結果について以下のとおり整理した。

I 時代の要請に対応した教育内容の更なる充実

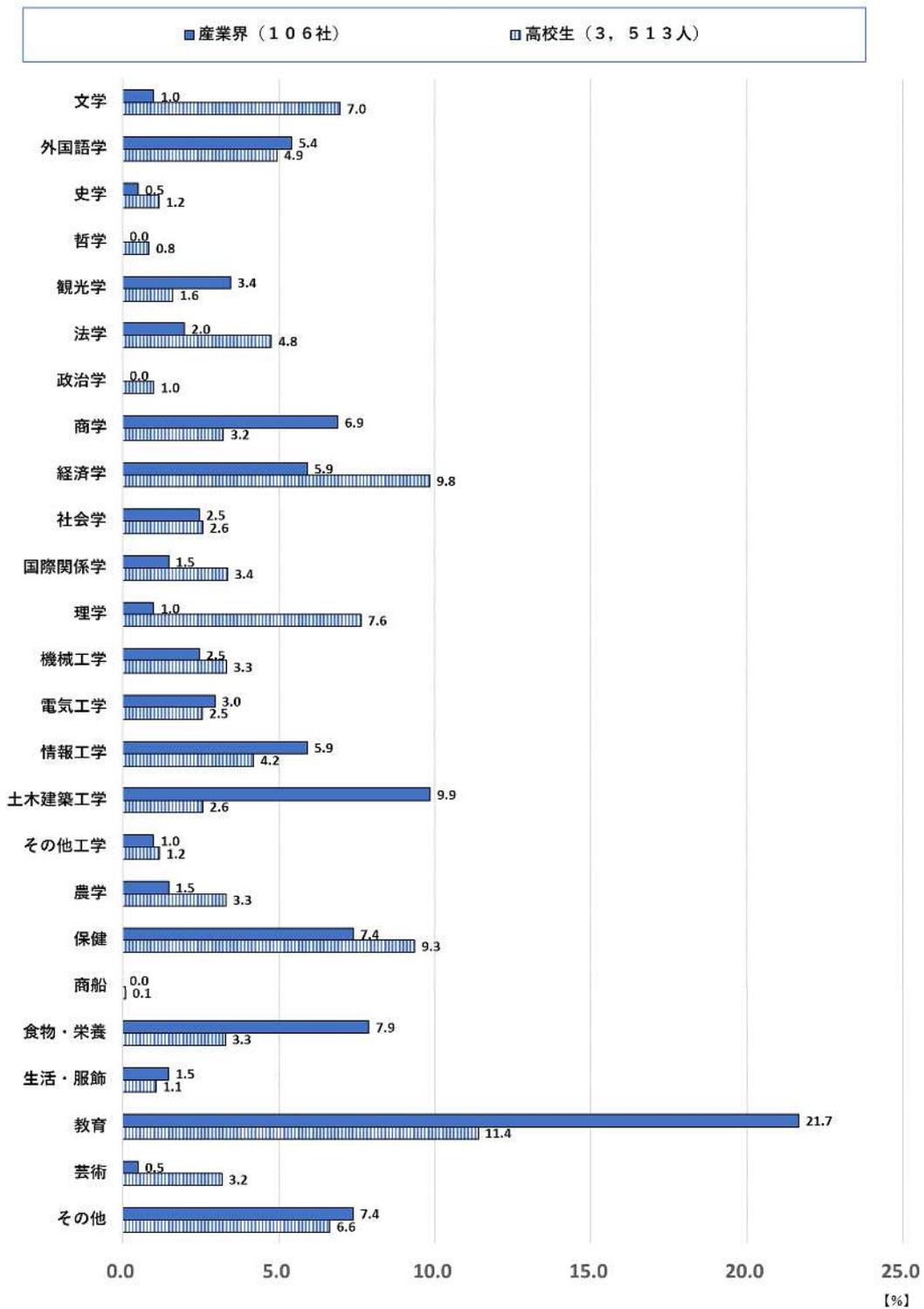
1 既存学科の教育内容の見直し

- (1) 産業界のニーズを踏まえた教育内容の見直しが必要ではないか。
 (2) 高校生のニーズを踏まえた教育内容の見直しが必要ではないか。

- ア 産業界のアンケートに回答のあった 300 社を業種別で見ると、「教育」，「製造業（メーカー）」，「建設関係（設計・建築・施工）」が多かった。
- イ 産業界に短期大学生に求める専門知識をアンケートで尋ねたところ、回答のあった企業等のうち約 4 割が「求める」との回答であった。
- ウ 「専門知識を求める」と回答のあった産業界を業種別に見ると、「教育」，「医療・福祉・介護」，「建設関係（設計・建設・施工）」が多く、求める専門知識としては、「教育」や「土木建築工学」，「食物・栄養」等が多かった。
- エ 産業界が短期大学生に求める具体的な専門知識では次の意見があった。
- ・ 児童の教育保育に関する知識，教職の知識，経理・簿記の知識
- オ 産業界が短期大学生に求める資格では次の意見があった。
- ・ パソコン操作，簿記・経理，語学
- カ 高校生のアンケートで、四年制大学又は短期大学への進学を希望する生徒の志望学部・学科系統は、「教育」，「経済学」，「保健」が多かった。
短期大学への進学を希望する生徒に限れば、「教育」，「食物・栄養」，「経済学」が多かった。
- キ 進路指導担当者のアンケートで、生徒に県立短期大学を薦めない理由として「生徒に学ばせたい内容の科目（授業）がない（25 人）」と回答した進路指導担当者が、県立短期大学にあれば生徒に進学を薦める学部・学科は「情報工学」，「観光学」，「保健」の回答が多かった。

学部・学科系統の比較

- ① 産業界への質問 「短期大学生に求める専門知識（3つまで選択）」
- ② 高校生への質問 「四年制大学・短期大学で志望する学部・学科系統（3つまで選択）」



(3) 文学科については、教育内容やネーミングの見直しが必要ではないか。

(例：外国の方に日本語教育ができる人材の育成，コミュニケーション力の強化)

- ア 高校生へのアンケートで，県短を志望しない理由で「学びたい内容の科目（授業）がない」と回答した高校生の中で，志望する学部・学科系統の設問に対して「文学」，「外国語学」と回答したものがあつた。
- イ 在校生のアンケートで，不足している教育内容として「英語のスピーキング学習」があつた。

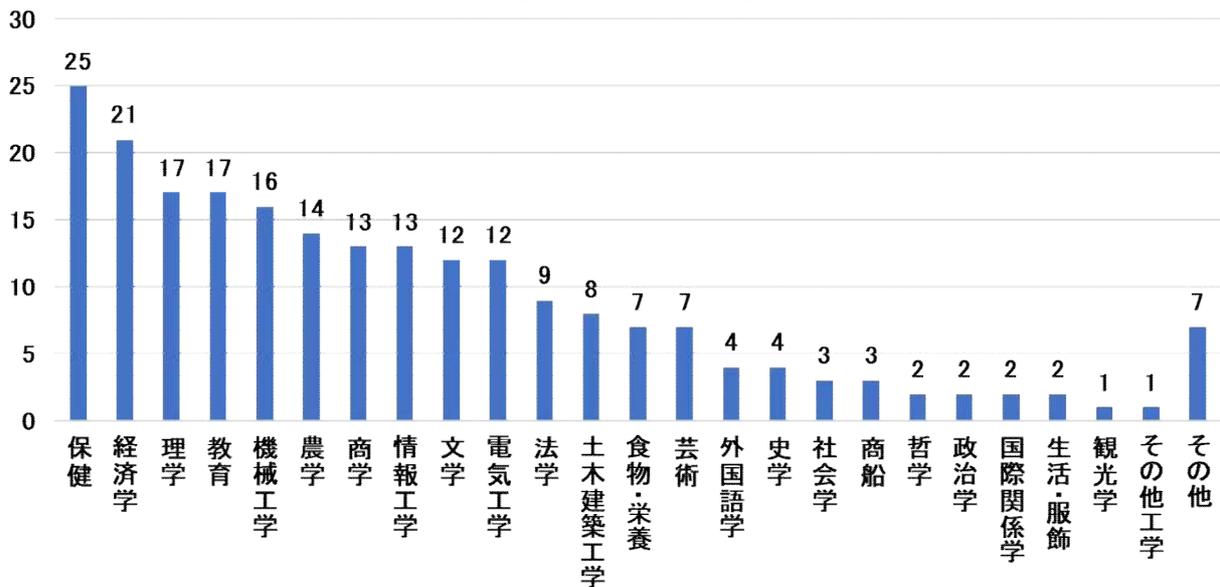
(4) 男子入学者の増加を目指した教育内容の見直しが必要ではないか。

(例：建築デザイン系の拡充)

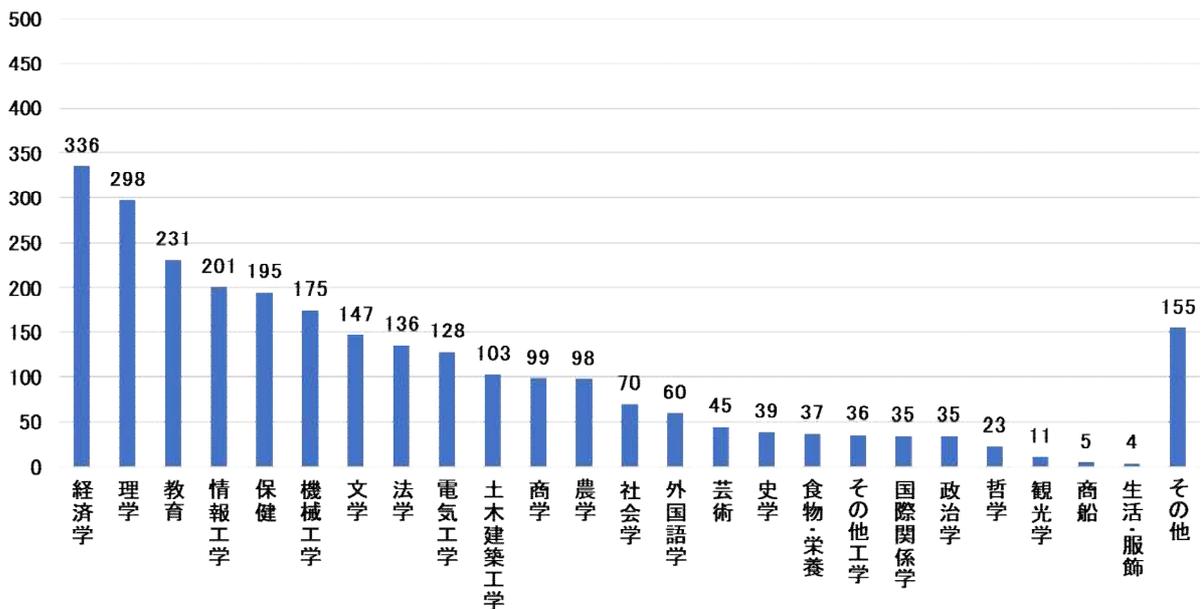
ア 短期大学を希望する生徒（615人）のうち、男子生徒（118人）が志望する学部・学科については、「保健」、「経済学」、「教育」、「理学」が多かった。

イ 進路指導担当者アンケートにおいて、「県立短期大学で建築が学べることが名称的に伝わりにくい。」という意見があった。

短期大学を志望する男子生徒(118人)



四年制大学・短期大学を志望する男子生徒(1,587人)



(5) リカレント教育の更なる充実が必要ではないか。

(例：長期履修制度の導入)

- ・ 産業界アンケートにおいて、県立短期大学で取り組んで欲しいリカレント教育・リスキリング教育は、情報分野のスキル向上を希望する等の意見があった。

種別	人間力向上	スキル向上	知識
主な内容	コミュニケーション	パソコン操作	語学（英語、中国語、韓国語など）
	協調性	プログラミング	簿記
	主体性	DX	銀行業務
	積極性	データサイエンス	ファイナンシャルプランナー
	行動力	ITパスポート	金融リテラシー
	理解力	自動化AI関連（RPA）	社会・介護・障害福祉
	思考力	画像解析	建設設備
	アウトプット	接遇・マナー	CAD・施工管理の書類作成
	プレゼンテーション		鹿児島島の地理・歴史・文化等
	問題解決能力		

(6) 鹿児島県の特性を活かした教育内容の見直しは必要ないか。

(例：観光関連産業が基幹産業であることを踏まえた見直し)

- ア 産業界のアンケートでは、「観光・宿泊施設・旅行」の11社の企業等から回答があったが、そのうち「観光学」の専門知識を求めるのは4社であった。
- イ 高校生アンケートにおいて、「短期大学」への進学を希望する生徒（615人）のうち、「観光学」を志望学部と回答したのは32人であった。
- ウ 進路指導担当者アンケートでは、県立短期大学を薦めない理由として「生徒に学ばせたい内容の科目（授業）がない（25人）」と回答した進路指導担当者が、県立短期大学にあれば生徒に進学を薦める学部・学科は、「情報工学」に次いで「観光学」、「保健」が多かった。
- エ 産業界へのアンケートでは、県立短期大学で取り組んでほしいリカレント教育・リスキリング教育として「鹿児島島の地理・歴史・文化等」という意見があった。

2 教養科目の強化

(1) 産業界や高校生のニーズを踏まえた教養科目の見直しが必要ではないか。

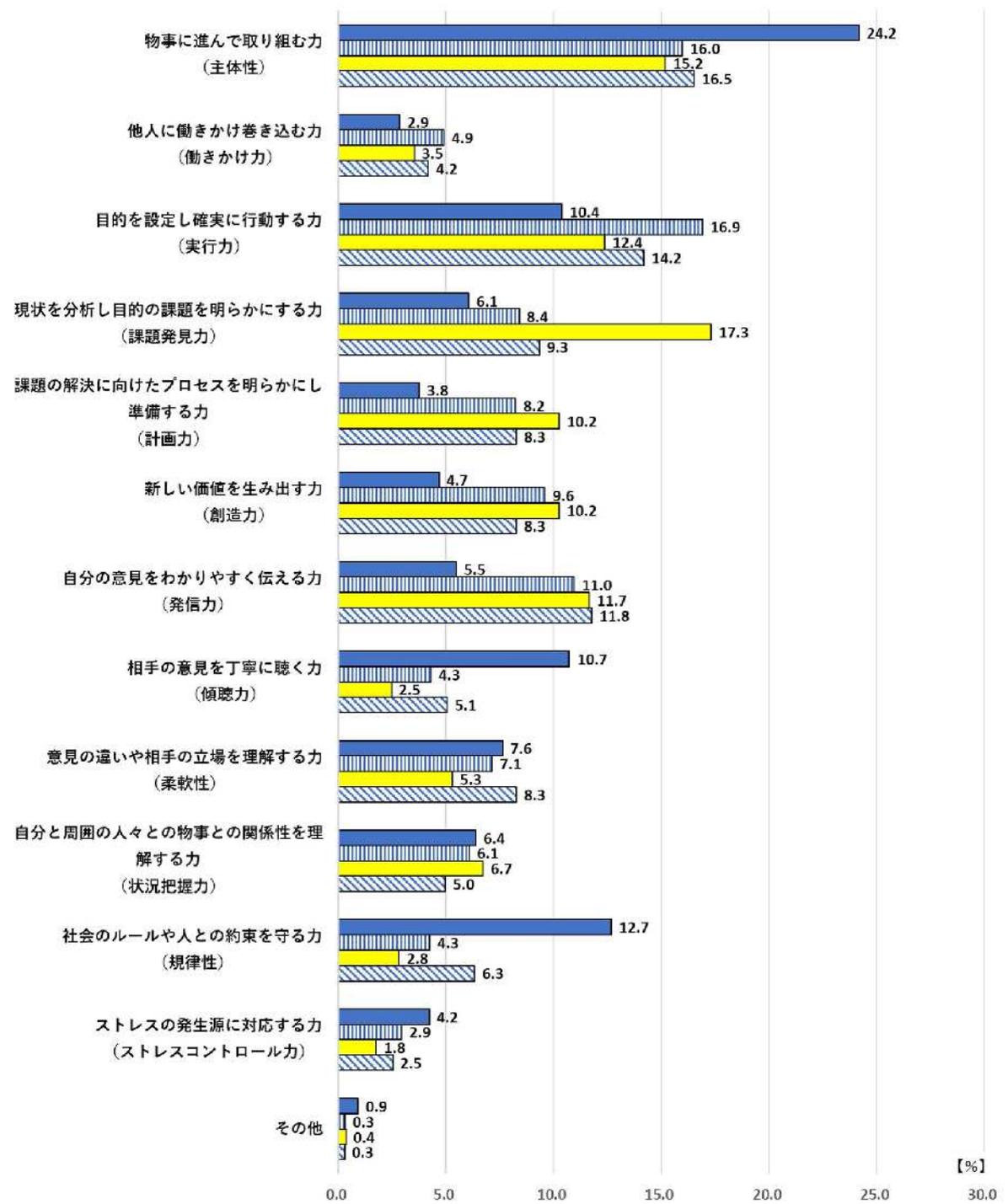
(例：コミュカ・表現力などの強化につながる科目の設定)

- ア 産業界が短期大学生に身につけて欲しい力は「物事に進んで取り組む力（主体性）」が最も多かった。
- イ 高校生が四年制大学・短期大学で身につけたい・伸ばしたい力は「目的を設置し確実に行動する力（実行力）」が最も多かった。
- ウ 進路指導担当者が高校の卒業生に身につけて欲しい力は「現状を分析し目的の課題を明らかにする（課題発見力）」が最も多かった。
- エ 在校生が県立短期大学で身につけたい・伸ばしたい力は「物事に進んで取り組む力（主体性）」が最も多かった。

身につけていて欲しい力・身につけたい力

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| ① 産業界への質問 | 「短期大学生に身につけていて欲しい力（3つまで選択）」 |
| ② 高校生への質問 | 「四年制大学・短期大学で身につけたい・伸ばしたい力（3つまで選択）」 |
| ③ 高校の進路指導担当への質問 | 「高校の卒業生に進学先で伸ばして欲しい力（3つまで選択）」 |
| ④ 在校生への質問 | 「県立短期大学で身につけたい・伸ばしたい力（3つまで選択）」 |

■ 産業界（300社） ■ 高校生（3,513人） ■ 進路指導担当（102人） ■ 在校生（406人）



(2) デジタル化やA I の時代に対応した教養科目の見直しが必要ではないか。

(例：情報分野の強化)

ア 産業界のアンケートでは、短期大学生に求める資格として「パソコン操作」という意見もあった。

イ 進路指導担当者へのアンケートでは、県立短期大学にあれば生徒に薦める学部・学科系統では「情報工学」が最も多かった。

ウ 進路指導担当者のアンケートでは、県立短期大学に取り組んで欲しい教育として、「AI 等の情報関係の学習の充実」という意見もあった。

エ 在校生のアンケートでは、県立短期大学で更に学びたいこと及び不足している教育内容で「情報関係」という意見もあった。

3 定員等の見直し

(1) 定員割れ学科の定員を減らすということではなく、既存学科の教育内容の見直しを踏まえた定員の配分変更が必要ではないか。

- ・ アンケート及びヒアリングでは、定員等の見直しに対する意見はなかった。